

令和4年4月吉日

会員各位

日本学校心理士会千葉支部
支 部 長 田 邊 昭 雄

日本学校心理士会千葉支部 令和4年度 第1回研修会のご案内
(ZOOMによるオンライン開催)

若葉が鮮やかな季節となりました。会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本学会の活動に対しまして、深いご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、日本学校心理士会千葉支部 令和4年度第1回研修会を下記の通り開催いたします。新型コロナウイルスの状況により、オンラインでの開催といたします。ご多用中とは存じますが、ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 期日 令和4年6月12日(日) オンライン開催
- 2 研修会名 日本学校心理士会千葉支部 令和4年度第1回研修会
(日本学校教育相談学会千葉県支部と共催)

※この研修会は 学校心理士資格更新ポイントをB1申請中

- ① 開会行事 14:20～14:30 (14:00～ミーティングへの入室可)
- ② 研修会 14:30～16:30 (14:30以降は入室をロック)
講演 「子どもたちの命を守るために 私たちにできること」
講師 中央大学人文科学研究所 客員研究員 高橋聡美 氏

日本では今、子どもの自殺者数が増加しています。その傾向は、新型コロナウイルス感染症が発生する前からありました。本講演では、なぜこのような問題が起こるのかを理解するとともに、私たち大人(教師)が子どもたちの命を守るためにできることを一緒に考えたいと思います。

- ③ 閉会行事 16:30～16:45 (諸連絡・感想提出)

※ 講演開始時間の14:30以降は入室をロックしますので、それ以降の参加は出来ません。

- 3 参加費 日本学校心理士会千葉支部会員…無料
日本学校教育相談学会千葉県支部会員…無料
他支部・その他の参加者…参加費 1,000 円
- 4 定 員 200名(定員になり次第締め切り)
- 5 申込について 裏面参照

日本学校心理士会千葉支部 令和4年度第1回研修会の申し込みについて

- 1 申込方法 下記 QR コードまたは URL からお申し込みください。(申込みは一人1アドレスで)
千葉支部以外の方は、申し込みと参加費の振込みをもって参加可能となります。

(QR コード)



(URL)

<https://forms.gle/G5krvDuTcAf9NVpt8>

参加費の振込みについて (千葉支部会員は必要ありません)

- ① 振込み先 千葉銀行 中央支店 普通 4484907
日本学校心理士会千葉支部 代表 田邊昭雄
- ② 振込み額 1,000 円 (千葉支部会員は無料)
- ③ 振込み期日 6月6日 (月)

※ 振込み者名は、必ず参加者本人のお名前をお願いします。

振込み手数料は、各自ご負担ください。

領収書は発行いたしませんので、振込の記録を保管してください。

- 2 申込期間 5月1日 (日) ~ 6月5日 (日) (定員を満した時点で申込み受付終了)

- 3 「学校心理士ポイント受講証」の発行について

- ① 発行を希望される方は、申込みフォーム内の希望欄にチェックを入れてください。
- ② 発行を希望される方には、研修会終了後、感想文入力フォームから簡単な感想文を送信していただきます。その際、研修会の途中で Zoom 画面上に提示される「受講確認コード (5桁の数字)」をフォームの入力欄に入力してください。コードの入力がない場合は、証明書等の発行はできません。
- ③ 感想文の送信が確認されましたら、後日事務局より郵送いたします。

- 4 その他

- ① 受講に必要なパソコンなどの設備一式及びインターネット環境は各自でご用意ください。
- ② インターネット環境が不安定ですと、途中で通信が途絶えてしまう可能性がありますので、光通信等の高速インターネット環境での受講を推奨いたします。なお、ご使用機器やネット環境等の不調により受講できなかった場合の補償はございません。また、研修中は接続や Zoom に関するお問い合わせには対応できませんので、ご了承ください。
- ③ 6月8日(水)以降に、研修会参加に必要な zoom 情報をメールでお送りします。申込みの皆さまへ一斉送信するため、迷惑メールのフォルダに入る可能性があります (特に Gmail, icloud などを使用の方)。6月8日以降は、迷惑メールフォルダ内のご確認もお願いいたします。

本研修会に関する問合せ先

日本学校心理士会千葉支部事務局 研修担当 富樫春人

gakusou4612@sakura-chiba.com (本研修会 問い合わせ専用アドレス)

— 研修会講師のご紹介 —

高橋聡美 氏（医学博士）

中央大学人文科学研究所 客員研究員
一般社団法人 高橋聡美研究室 代表
BPO（放送倫理・番組向上機構）委員
前防衛医科大学校教授（精神看護学）

【経歴】

1968 年 鹿児島県出身

自衛隊中央病院高等看護学校卒後、国立精神・神経センター国府台病院の精神科病棟・心療内科病棟で看護師としてメンタルヘルスに従事。看護学校の教員をしながら大学を卒業。東北大学大学院で博士（医学）を取得。仙台青葉学院短大講師、つくば国際大学教授、防衛医科大学校教授（精神看護学）を歴任。

2003 年より 2 年間スウェーデンで精神医療福祉および教育の調査を行う。

2006 年より自死遺族支援など自殺予防活動を開始

子どもグリーフサポートの全国調査、東日本大震災子ども支援など様々なメンタルサポートのアドバイザーを務める。

2016 年より 全国で自殺予防教育の授業および教員研修を開始。

全国の市町村の自殺対策策定スーパーバイズを行うと同時に小中高校で自殺予防教育の授業を行う。
また、児童生徒・教員・保護者向けの SOS の出し方・受け止め方の講演を全国各地で行う。

2021 年の講演数・授業数は 202 に及ぶ。

【著書等】

- ・『教師にできる自殺予防ー子どもの SOS を見逃さない』（2020）教育開発研究所
- ・『死別を体験した子どもによりそうー沈黙と「あのね」のあいだでー』（2013）梨の木舎（共著）
- ・『ひとりじゃない ドキュメント震災遺児』（2012）NHK 出版（共著）

ほか著書、論文等多数

本研修会には会員以外の方も参加いただけます。学校教育相談について関心をお持ちの方がお近くにいらっしゃいましたらぜひ御案内ください。（会員外の参加費は 1,000 円）